

あなたなら　どうする③

専門の渡りにもめげず 登校する度々の二部学友諸君！

ぼくらは、日中取扱にいたる私制の監視と上司のヤマンに束縛されつつ、与ふられた仕事を消化すれば立派な社員人として最低限の生まらざりだけの保障で大学に来たりるのであるが、生活そのものは進行する政治とは全く関係ない。ぼくらの生活は政治と不可分の関係にあるのであるが、日常生活の中で自らが政治に参加しない限り、その人の政治的存在とは、外見表裏で同じくの議見投票に際し無価値な一票を投じ、腐敗堕落した議員を守る役割を果たさにすぎない。

例曰、聖裁化した自民党とそれを左から支えている野党のために、
72年非議は「核、付帯米軍自由使用を返還せしむる」であろうし、憲法違反の自民黨が世界七位、第三位の軍備を確立し、又区内企業再編の独占企業創設、合理化、あるいは教育の改変等の帝日主義日本入再編、進化が進行しきる。

ぼくらの立場の合理化、敵対的対応があり、明大のこのロックアウト体制、学館閉鎖は政府の要請に基づいての中教審大学化に他ならない。

ぼくらの立場とどうかないと、そこでは政治は確実に進行し、と反対してこの権力の日常生活への介入がある。現在がまさに介入状態にある。
小説、ぼくらは権力の設定した日常生活に追い込まれ、やく末にはぼくらも親が自ら銃を持った過去をくじ返す入である。

これを拒否するには、月々の時まで自らが主体的に政治に参加し、政治を変革する以外に道はない。学苑団　委員長 小島保雄

学苑団

小島保雄 委員長

まことに15日、ロックアウト体制下でしかも本拠地の大学会館という困難な状態にもかかわらず、互角的な学友諸君の結束と熱意溢れる討論で勝ち取られた学苑団学生大会に於いて、岩谷執行部に受けつけ誕生した新執行部につけばすぐに御存知のことと思う。

新執行部は、旧来の学苑運動を超えるダイナミズムヒリアリティを内包する徹底した自治民運動を追究し、大学当局、日共＝民青によって形骸化した自治民運動を革命的に再編・進化する作業を現在行なっている。

当面の運動方針として、中教審大学化解消（ロックアウト体制解除、学館解放）、予想される二部授業料値上がり阻止、そして、尹錫、八島・反軍闘争である。現在、支配階級は韓日、台湾、東南アジア新植民地主義と政治的、経済的侵略を開始しきる。そのための内体制確立の一環として二部官法科上呈、一在朝鮮人弾圧。おなじく学生連盟の暴力的弾圧、中教審大学化がある。学苑団このような支配階級＝大学当局等への策動を断固拒絶する。

多くの学友諸君と共に、との先頭に立つて肩をこす宣言する。